

## 令和2年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒を伸ばす学校(教育力) No.1	笑顔ある学校(安心安全) No.1	親しみやすい学校(地域交流) No.1
1.「未来につながる確かな学力」 2.「安心・安全な学び舎」づくり 3.「西高コミュニティー」の充実と発展	(確かな学力を育成し、高い希望進路を実現する) (他者と尊重しあう人権意識を醸成し、多くの仲間がいる安心・安全の学校をつくる) (地域と共に育つ西高生、地域交流No.1を誇る堺西高)	

## 2 中期的目標

## 1. 未来につながる確かな学力の育成とさらなる高みの進路実現 Challenge for the future

- (1) 多様な希望進路実現(理系[理系、看護医療系]、文型、体育・芸術表現創造コース)に向けて、教職員が一体となり組織的に取り組む。
- ア. 基礎学力重視の補習、進学講習を充実させるとともに進学意識を高め、3年生対象の勉強合宿(集中講座)の発展充実を図る。
- イ. 「学習サポート委員会」で生徒の学力向上と進路実現を推進する。
- ウ. コース別の外部講師による講演会を実施し、生徒のモチベーションを多角的に刺激し、進路実現をサポートする。
- エ. 「アートスタジアム」の質感を高めるために、組織的な取り組みとして発展充実させる。(芸術コース・体育コース、音楽系クラブの生徒が成果発表することにより、表現力・創造力をさらに磨く機会とする)。
- ※第1志望校合格者80%以上、学校斡旋による就職内定率100%維持
- (2) 弛まぬ授業改善により興味・関心を抱かせる魅力ある授業をめざす。
- ア. ALの手法を用いて、「何ができるようになるのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を重視した授業改善に取り組む。(AL型授業の推進)
- イ. 年2回の公開授業を実施し、全員参加の研究授業を充実させ教科を超えて授業見学を行う。(相互授業見学:年4回)
- ウ. 「CAN-DOリスト」で学習到達目標を設定し、英語の4技能を総合的に育成する授業作りを推進する。併せて英検準2級以上の受験を奨励し、英語の実践的スキルを向上させる。
- エ. ICT機器を活用した授業を推進し、生徒の授業に対する肯定的評価を高める。(ICT活用授業の実践)
- オ. 授業アンケートを活用して授業の改善点を確認し、授業力向上を図る。(授業アンケートの全教員平均評定の向上)
- ※授業アンケートの教員平均評定の向上 3.1以上を維持(H29:3.1→H30:3.11→R1:3.13%)
- ※学校教育自己診断アンケート(生徒用)「教え方を工夫した授業」の肯定的評価50%以上をめざす。(H29:51.8→H30:47.5%→R1:46.4%)

## 2. 生徒が安心して学べる「安心・安全」な学び舎づくり

- (1) 課題を抱える生徒・要配慮生徒を組織的に支援する。
- ア. 教育相談委員会と学年団が連携を密にし、教科担任が適切に課題を抱える生徒に対応できるよう情報を共有し、学校全体で最善の支援を行う。
- イ. 必要に応じてSCと密接に連携を取り、不登校気味の生徒や、心に課題を抱える生徒の対応にあたる。また研修等を通して教員のアドバイザー機能を高め、不登校の未然防止、ドロップアウトの防止につなげる。
- ウ. 教職員一人ひとりが「いじめ・体罰」に関する感性を一層高め、いじめを認識したり、生徒から訴え等があった場合、速やかに組織で対応を行う。
- エ. 教育相談室を充実させ、相談者やその他課題を抱える生徒にとって安心できる居場所を提供する。
- ※引き続き、いじめ・体罰のない「安心・安全」な学校をめざす。
- (2) 仲間づくりを支援する
- ア. 「自他敬愛」の心を育み、仲間意識・協調性の向上を図り、学校行事を通して高校生活に充実感と自己有用感を持たせる。
- イ. クラブ加入率を維持し、西高に対する帰属意識や愛校心を高めるとともに学校の活性化を図る。
- ※学校教育自己診断アンケート(生徒用)の「学校行事に積極的に関わっている」肯定的な意見70%以上をめざす(H29:69.5→H30:69.3%→R1:70.8%)
- ※3年生引退前のクラブ加入率65%を維持(H29:70%→H30:70%→R1:65%)
- (3) 人権意識の醸成と道徳教育の推進
- ア. 人権問題に関する正しい理解を深め、女性、障がい者、同和問題(部落差別)、在日外国人、性的マイノリティに係る人権問題をはじめ、様々な人権問題の解決をめざした教育を人権教育として総合的に推進する。
- イ. 人間としての在り方、生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために道徳教育推進教師を中心とした道徳教育を推進する組織体制の構築を行う。
- (4) 働き方改革の推進
- ア. 校務の効率化を図り、教職員の事務作業に係る時間を軽減することにより、生徒と向き合う時間を確保する。
- ※時間外勤務月80時間以上の職員を半減させ、ストレスチェックによる「健康総合リスク」の値を府立学校の平均値以下にする。(H29:91→H30:95→R1:104)

## 3. 地域と共に育ち活躍する「西高コミュニティー」の充実

- (1) 開かれたクラブ活動、学校行事で一層の地域交流を行う。
- ア. 近隣の中学生を招いた大会「西高カップ(女子ソフトテニス、サッカー、女子バレー)」を継続し、地元中学校との連携をさらに深める。
- イ. 「ともに学び、ともに育つ」教育を推進するために、泉北高等支援学校との授業交流(年2回)を継続し障がいのある生徒との相互理解を深める。
- ※西高カップについては、令和4年までに参加者数よりも質感の向上を優先し、泉北高等支援学校との授業交流については、交流方法のさらなる工夫を行う。
- (2) 開かれた学校作りをめざし、地域貢献活動やボランティア活動を推進する。
- ア. 「美化運動」や「あいさつ運動」を実施する。
- イ. クラブ活動や生徒会による地域行事(南区や町会主催のイベント)への参加やボランティア活動を奨励する。
- ウ. 地域の一員として通学時の交通ルール順守は勿論、礼儀、服装、遅刻厳禁など規律遵守の重要性を説き、西高生としてのプライドを自覚させる。
- (3) 西高の取り組みを学校HP、学校説明会、中学校訪問、地域交流等を通じて広報し、広く西高の魅力を地域に発信する。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【自己診断全般について】</p> <p>○生徒に関しては全項目で肯定的評価が上昇し、保護者に関しても8割以上の項目で肯定的評価が上昇した。コロナ禍の中でも可能な範囲で本校の特色に基づいた教育活動に懸命に取り組んだ成果だと判断できる。</p> <p>【生徒の回答から】</p> <p>○「学校の楽しさ」項目で高い肯定値 <b>84.8%</b> (前年比 <b>3.6p</b> ↑) を示している。これは「部活動の活発さ」項目肯定値 <b>88.5%</b> (<b>8.7p</b> ↑)、「学校行事への関わり」項目肯定値 <b>79.8%</b> (<b>9.0p</b> ↑)、「命の大切さやルール順守」項目肯定値 <b>68.2%</b> (<b>10.1p</b> ↑) など、感染症防止対策をしながらではあるが、特別活動等を通して生徒に様々な力を身につけさせるという本校教育活動の特色を推進した反映だと考えられる。○授業に関しては「わかりやすさ」肯定値 <b>52.1%</b> (<b>7.3p</b> ↑)、「工夫」肯定値 <b>56.4%</b> (<b>10.0p</b> ↑) となっており、SN 勉強会など教員の授業改善の取組の反映が見られるが、この点ではより一層の改善努力を図りたい。○上昇値が小さいのは「自宅学習時間」「図書館利用」項目である。生徒自身の学業に対する意欲向上は引き続いての課題である。</p> <p>【保護者の回答から】</p> <p>○「教育方針の理解共感」項目の平均肯定値 <b>74.5%</b> (<b>5.5p</b> ↑)、「子どもから聞く学校の楽しさ」項目肯定値 <b>81.7%</b> (<b>5.3p</b> ↑) であり、教育活動全般について一定のご理解をいただいていると判断できる。○コロナ禍のために「保護者や地域との交流」「保護者の行事参加」などの項目については肯定値が下がった。感染症をとりまく状況が落ち着きを見せたら、挽回を図りたい。</p> <p>【教職員の回答から】</p> <p>○コロナ禍により、大きな制限が加えられことにより会議や研修、地域交流の関連項目で肯定値が大きく下がった(「会議の機能性」項目肯定値 <b>50.0p</b> (<b>9.6p</b> ↓)「地域交流」項目肯定値 <b>19.2%</b> (<b>28.0p</b> ↓) など)。○体制に関しては「いじめ」「事象発生時対応」関連項目では肯定値が上がったが、教科内での授業計画性については肯定値を下げている。組織面での機能性の低さが自覚されている項目については、マニュアル整備などを行いつつ、改善に取り組みたい。</p>	<p>【第1回学校運営協議会(令和2年6月26日)】(対面実施)</p> <p>○今年度学校経営計画についての説明はわかった。いろいろとあると思うが、感染症防止に努めながらも、目標とする教育活動を進めてほしい。</p> <p>○学校づくりにおいて重点的に取り組みたいこととして校長が述べた「社会で生きていくうえで必要となる総合的な力を3年間で育成する」とことというのは大切なことである。ぜひとも取り組んでほしい。</p> <p>○部活動加入率は例年なみということだが、この学校の特色部分なので、コロナ禍のなかでも工夫してがんばってほしい。</p> <p>○感染症防止対策をどのようにしているのかについて、それぞれの立場で委員各自が直面している課題問題を意見交換したい。それをこの学校での対策の参考にしてほしい。</p> <p>○感染症対策に関わっては入試日程がどうなるか等、進路指導関連でも大きな課題となると思われる。</p> <p>【第2回学校運営協議会(令和2年11月5日)】(対面実施)</p> <p>〈授業見学に関して〉</p> <p>○音楽、書道、美術の授業で作品等の出来栄がいいことに感心した。教員の指導力の高さの反映かと思うが、生徒たちが楽しみながら取り組んでいるのを感じた。</p> <p>○詰め込むのではなく、自然体で教員と生徒が授業に臨んでいるのがとても良かった。</p> <p>○教員と生徒との間に壁がなく、必要な対話を重ねてレベルの高い授業をしていた。</p> <p>○生涯教育の観点からの授業づくりが重要だとされてきている。芸術では実作だけではなく、鑑賞行為も大切な要素なので、「相互鑑賞」の機会も充実させてほしい。</p> <p>〈教育活動報告に関して〉</p> <p>○コロナ感染症対策をしながらの行事等教育活動の実施にあたり大変努力している様子がうかがえる。不安を抱える生徒たちがいると思うので、支えてがんばってほしい。</p> <p>○学校関係においても、この状況下でできることを実施していくことが必要である。引き続き、この状況下でも生徒たちのためにできることに取り組んでいていただきたい。</p> <p>【第3回学校運営協議会(令和3年3月17日)】(郵送形式により実施)</p> <p>令和3年度学校経営計画「めざす学校像」「中期的目標」承認</p> <p>〈学校教育自己診断の結果に関して〉</p> <p>○「学校が楽しい」などの評価が高く、コロナ禍の影響を感じさせない良い評価結果である。「宿題をきちんと行っている」などの評価が高いのに、「自宅学習時間」が短いという点には工夫の余地があると思われる。</p> <p>○コロナ禍にもかかわらず、肯定値の上昇が見られた項目があるので、日常の教育活動が理解されている様子がわかる。働き方改革については引き続き検討が必要である。</p> <p>〈授業アンケートに関して〉</p> <p>○11月の授業見学時、生徒が授業を楽しんでいるのを感じた。教師が生徒とともに授業を作り上げていくという思いが授業アンケートの結果に表れていると考える。</p> <p>○評価は悪くないと思う。個々の教員に任されている部分が大きいと思うので、学校として目標や授業モデルを作り、生徒にとってわかりやすい、努力目標が決めやすい授業の追究が必要だと考える。</p> <p>〈教育活動全般について〉</p> <p>○学校が好き、部活動が好き、行事が好きな西高生がこれからも元気で頑張れる環境を作ってほしい。生徒にとって、安心安全な環境の確保と主体的な授業スタイルの追究がこれからも重要だと考える。</p> <p>○課外活動に制限がある中、生徒自身も工夫を凝らして、充実した高校生活を送ろうとしていることがよくわかった。「学びを止めない」ことの重要性を今年ほど痛感した年はない。</p> <p>○多くの行事が中止になる中、西高祭が対策をとりながら実現できたことは、とても良かったと思う。生徒たちが楽しみにしていた修学力校が中止になったことは残念だが、代替行事ができれば良い思い出になると思う。</p> <p>○行事の中止、縮小に関しては、苦渋の決断であったと慮る。その中で、生徒の思いが向上したという結果が出たということは、学校運営において一定の成果が出たと評価される。</p>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 未来につながる確かな学力の育成とさらなる高みの進路実現	<p>(1) 多様な進路実現に向けて教職員が組織的に取り組む</p> <p>(2) 弛まぬ授業改善により興味関心を抱かせる魅力ある授業をめざす</p> <p>(3) 英検・漢検をはじめとする資格取得を奨励する</p>	<p>ア) 「総合的な探究の時間(学びにむかう探究学習)」検討WGで、教科横断的な学習や課題発見・解決能力の育成を行うプログラムの研究開発を行う。</p> <p>イ) 早期に明確な進路目標を設定させ、自学自習の意欲を高揚させる。</p> <p>ウ) 多様化する受験方式に即応するために受験サポート体制を改良し、進学講習や勉強合宿の形態をさらにバージョンアップさせる。</p> <p>エ) 第1志望の進路実現に向け学校をあげて支援を行う。</p> <p>ア) 生徒の授業に関するニーズを把握し、ICT機器を活用した授業の実施を推進する。</p> <p>イ) 授業アンケートを活用し、授業形態の工夫・改善に繋げるとともに教員相互の研究授業や公開授業を実施し、多様な観点から評価・検証を行う。</p> <p>ア) 英語、漢字、情報処理、硬筆書写検定等の各種資格試験を奨励し、段階的に上位の級に挑戦させる。</p>	<p>(1) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「将来に向けた進路・職業に適切な指導が行われている」の肯定的評価70%をめざす。学校教育自己診断アンケート(保護者用)(R1:68.3%)</li> </ul> <p>イ) ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自学自習時間の増加を図る 学校教育自己診断アンケート(生徒用) 2h以上 構成比 6%以上(R1:4.7%) 1h~2h 〃 10%以上(R1:11.3%)</li> </ul> <p>エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路先満足度75%</li> <li>学校斡旋による就職内定率100%</li> </ul> <p>(2) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「工夫された授業」の肯定的評価を50%以上 学校教育自己診断アンケート(生徒用)(R1:46.4%)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケートの全教員平均評定3.11以上維持(R1:3.13)</li> <li>教員相互の授業見学年4回維持(R1:4回)</li> </ul> <p>(3) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英検2級・準2級合格者20名以上をめざす(R1:10名)</li> <li>漢検準2級以上25名(R1:13名)</li> <li>情報処理検定準2級以上30名(R1:20名)</li> <li>ワープロ検定準2級以上3名(R1:3名)</li> </ul>	<p>(1) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者対象学校教育自己診断アンケート(以下「自己診断」)「将来に向けた進路・職業に適切な指導が行われている」の肯定的評価は76.9%で目標を達成した。(◎)</li> </ul> <p>イ) ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒対象の「自学自習時間の増加を図る」自己診断2h以上7.9%、1h~2h9.7%であった。2h以上が大きく増加、合計17.8%に達したので目標達成と考えている(○)</li> </ul> <p>エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路先満足度は約85%(○)</li> <li>学校斡旋就職内定率は100%</li> </ul> <p>(2) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒対象自己診断「工夫された授業」の肯定的評価56.4%で目標を達成した。(○)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケートの全教員平均評定3.28で目標を大きく上回った(◎)</li> <li>教員相互の授業見学は感染症防止対策により年間1回にとどまった(一)</li> </ul> <p>(3) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英検2級・準2級合格者6名(△)</li> <li>漢検準2級以上7名(△)</li> <li>情報処理検定準2級以上36名(○)</li> <li>ワープロ検定準2級以上9名(○)</li> </ul> <p>*英検に関しては、コロナ禍の影響で第1回目不実施のため、第2回のみ結果となっている。</p>
2 生徒が安心して学べる安心・安全な 学び舎づくり	<p>(1) 課題を抱える生徒・要配慮生徒の組織的支援</p> <p>(2) 仲間づくりの支援</p> <p>(3) 人権意識の醸成と道徳教育の推進</p> <p>(4) 働き方改革の推進</p>	<p>ア) 教育相談委員会と学年団が連携し、担任が適切に課題を抱える生徒に対応できるよう情報を共有し学校全体で最善の支援を行う。</p> <p>イ) 年10回のSC有効活用と教育相談室の充実</p> <p>ア) 学校行事、クラブ活動のさらなる活性化を図る。</p> <p>イ) 顕著な成果のあったクラブについては、後援会による支援を行う。</p> <p>ア) 生徒向け人権講演会等で生徒自身の人権意識を向上させ、共に学び・共に育つ心を磨く。</p> <p>イ) 警察官等による交通法規、自転車マナー研修</p> <p>ウ) 情報社会における正しい判断や望ましい態度、セキュリティーの知識等情報モラルの育成に努める、SNS等による「いじめや問題行動」を防止する。</p> <p>ア) 校務を見直し、縮減、効率化を図る。</p>	<p>(1) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる」(生徒用)の肯定的評価40%以上をめざす(R1:32.9%)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談便りを5回発行する。(R1:3回)</li> </ul> <p>(2) ア) イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校が楽しい」(生徒用)の肯定的評価80%以上の維持(R1:81.2%)</li> <li>部活動入部率65%以上を維持する</li> </ul> <p>(3) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な差別を考える取り組みの実施、人権講演会肯定的評価80%以上</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>苦情件数の半減(R1:12件)</li> </ul> <p>ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの正しい使用を徹底し問題事案件数「0」の維持</li> </ul> <p>(4) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ意欲的に取り組める環境にある。」(教員用)の肯定的評価30%以上(R1:17%)</li> <li>ストレスチェックによる「健康総合リスク」の値を府立学校の平均値以下にする。(R1:104)</li> </ul>	<p>(1) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒対象自己診断「保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる」肯定的評価34.6%だった。微増にとどまったので、改善に取り組む。(△)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談便りは5回発行した。(○)</li> </ul> <p>(2) ア) イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒対象自己診断「学校が楽しい」の肯定的評価84.8%(○)</li> <li>部活動入部率62.1%(△)</li> </ul> <p>(3) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症防止対策により人権HRは講演会形式で開催できなかったが、同和問題に関する内容で各教室で実施した。(一)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>苦情件数は7件だった(△)</li> </ul> <p>ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNS問題事案は0件である(○)</li> </ul> <p>(4) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員対象自己診断「適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ意欲的に取り組める環境にある。」肯定的評価は10p以上向上したが27.5%で、目標には届かなかった。(△)</li> <li>ストレスチェックによる「健康総合リスク」の値を府立学校の平均値以下にできなかったため、引き続き改善に努めたい。(△)</li> </ul>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 地域と共に育ち活躍する 「西高コミュニティ」の充実</p>	<p>(1) 開かれたクラブ活動、学校行事で一層の地域交流推進</p> <p>(2) 地域貢献ボランティア活動の推進</p> <p>(3) 異校種連携の一層の充実と発展</p> <p>(4) 地域における評判を高める</p> <p>(5) 広報活動と情報発信</p>	<p>ア) 「西高カップ(女子ソフトテニス、サッカー、女子バレー)」の開催や文化部による地域祭りへの参加や施設の訪問発表を行う。</p> <p>イ) 10 回目を迎える「アートスタジアム」において更なる質感の充実を図る。</p> <p>ア) 校内や地域での「美化運動」や「あいさつ運動」を展開する。</p> <p>ア) 福泉南中学校、福泉中央小学校、桃山台小学校との連携、泉北高等支援学校との交流を行い学校相互の理解を深め、小中高が一体となって生徒の成長を見守る。</p> <p>イ) 桃山学院教育大学等との高大連携の継続・発展を図る。</p> <p>ア) 生活指導を通じてルール遵守の必要性を教え卒業後も信頼される西高生を育てる。</p> <p>ア) 学校説明会、体験入学の充実を図る。</p> <p>イ) 学校からの情報を効果的に発信し、各種ブログの積極的な更新を推進する。</p>	<p>(1)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「西高カップ」の参加中学生累計 <b>1300</b> 人以上を維持する (R1:1300 名)</li> <li>・「学校行事に積極的に関わっている」<b>70%</b> 以上をめざす (R1:70.0%)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流事業年間 <b>20</b> 回以上</li> </ul> <p>(2)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動、清掃活動を合計年 <b>50</b> 回以上行う (R1:50 回)</li> </ul> <p>(3)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣小中学校に出前授業(水泳講習等)や AED 講習を <b>2</b> 回以上実施</li> <li>・泉北高等支援学校との年 <b>2</b> 回の交流継続</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桃山学院教育大学との高大連携事業を体育コースにおいて年 <b>30h</b> 以上継続実施をする。(R1:34h)</li> </ul> <p>(4)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校則・規律遵守を指導し、遅刻累計 <b>2000</b> 件以下をめざす。(R1:1 月末 2153 件)</li> </ul> <p>(5)ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会時に生徒会執行部、クラブ員による準備、運営、進行を行う。</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ブログの発信頻度を月に <b>10</b> 本以上あげる。</li> </ul>	<p>(1) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「西高カップ」は感染症防止の観点から今年度は開催なしの予定 (一)</li> <li>・コロナ禍の中で対策をしながら、文化祭体育祭を開催し、生徒対象自己診断「学校行事に積極的に関わっている」肯定的評価 <b>79.8%</b>と目標を大きく上回った。(◎)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの交流事業が中止となったが、「アートスタジアム」は「パフォーマンス・スタジアム」(フェニーチェ堺)「アートスタジアム」(パンジョホール)に分けて今年度も質的に充実した内容で開催できた。(○)</li> </ul> <p>(2) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のあいさつ運動、清掃活動は今年度は中止となっている。(一)</li> </ul> <p>(3) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により AED 講習 1 回にとどまった。(△)</li> <li>・協議のうえ泉北高等支援学校との交流は今年度は中止している。(一)</li> </ul> <p>(4) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻累計は <b>1841</b> 件で、<b>2000</b> 件を下回った。(○)</li> </ul> <p>(5) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会は 3 回とも実施した。1 回目の全般にわたる活躍、2、3 回目に施設見学不可のため、急遽代替のわかりやすく楽しい映像を制作するなど生徒は可能な範囲で大いに協力した。(○)</li> </ul> <p>イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 月 25 日時点で校長ブログ <b>81</b> 回をはじめ、各種ブログ更新累計で <b>100</b> 回は超えている。(○)</li> </ul>
--	---	---	---	--